

b. 資源植物事典¹⁾ に切片作成用の髄で、ニワトコ以外に記載されている植物の髄を検討した結果、ヤツデの髄は質が硬く、柔細胞中にでんぷん粒を含有し髄の摘出は不可能。ハコネウツギは髄が細くて硬く、摘出は困難。カミヤツデの髄は隔膜髄で使用部分が少なく柔軟。ヤマブキ、パラ類、アジサイ類、およびキブシの髄は摘出容易であるが細く柔軟。アキノノゲシ、キクイモ、およびアカザの髄は太いが柔軟であり、記載されたすべてのものは切片作成用として不適当である。

考察：以上のことから切片作成に用いる髄はニワトコ、およびヤマウコギの髄が最も適し、ニワトコの髄は葉や細い根など柔軟な検体に適し、ヤマウコギの髄は大きく硬い検体にも適する。しかし、ニワトコの髄にはシュウ酸カルシウムの砂品があり、ヤマウコギの髄には集晶が含有されており、切片作成上検体中に結晶が入る可能性があるので注意を要する。

謝辞：比較した植物のご鑑定の労をとられた京都大学理学部村田源先生、および採集のご指導をされた大阪市立自然科学博物館の瀬戸剛氏に深謝する。

* * * *

List of abbreviations in the figures: ca: clustered crystal, cd: crystal sand, p: parenchyma, sc: sclerenchyma cell, sel: secretory canal, ta: tannin sac.

* * * *

The pithes from the stems of *Sambucus sieboldiana* Blume ex Graebn. and *S. nigra* L. are said to be the best for preparing the cutting sections for microscopical observation of plant tissues. But through the observation of their tissues, the so-called “the pith of Japanese elder—Niwatoko no shin” in the Japanese market is proved to be the pith from the stems of *Acanthopanax spinosus* (L. fil.) Miq. of Araliaceae.

Attention should be paid in observing the materials embedded in both pithes from *Sambucus* sp. and *Acanthopanax* sp., as they contain the crystals of calcium oxalate.

□ 亘理俊次：海辺の花，B 6 判，カラー 108，解説索引共 199 pp. 10, 7, 1970 山と溪谷社，¥ 480。

亘理博士が代表で編集されたもので、同氏の他 18 氏による優秀な北海道から沖縄にわたる海浜の植物とそれらの生態を示すすぐれた写真を集録したもので、生態的のものには部分的大写真のものが添えてある。この種の一般写真と異り極めて精細にピントが合っているので、アミ版でありながら目が細かいので低倍の拡大鏡で見ると微細な部分が明瞭に見え、アミ目がじやまにならない。解説は亘理氏が全部執筆されたものである。各頁の末尾には撮影者名、場所の他、使用レンズや撮影技術上のデータがつぶさに明記してある。写真もさることながら印刷も上々のできである。(久内清孝)